

# 2021年度 第3四半期決算

2022年1月27日

富士電機株式会社

## 市況の回復基調が継続し対前年増収増益 営業損益、経常損益、純損益は過去最高を更新

(単位:億円)

	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	増減
売上高	5,613	6,200	587
営業損益	141	327	186
経常損益	140	341	202
特別損益	-165	72	238
税金等調整前 四半期純損益	-26	414	440
法人税等	-3	127	130
非支配株主に帰属する 四半期純損益	17	32	15
親会社株主に帰属する 四半期純損益	-40	254	294

(期末レート:12月末)

(単位:円)

US\$	103.50	115.02	11.52
EURO	126.95	130.51	3.56
RMB	15.88	18.06	2.18

(平均為替レート)

(単位:円)

US\$	106.11	111.10	4.99
EURO	122.38	130.62	8.24
RMB	15.44	17.25	1.81

### 売上高増減

海外子会社の為替換算差による増収	+140
需要増	+447

### 営業損益増減

物量・生産増	+192
固定費増	-52
為替影響	+37
その他*	+9
	+186

\*コストダウン、価格変動、機種構成差等

### 営業外損益増減

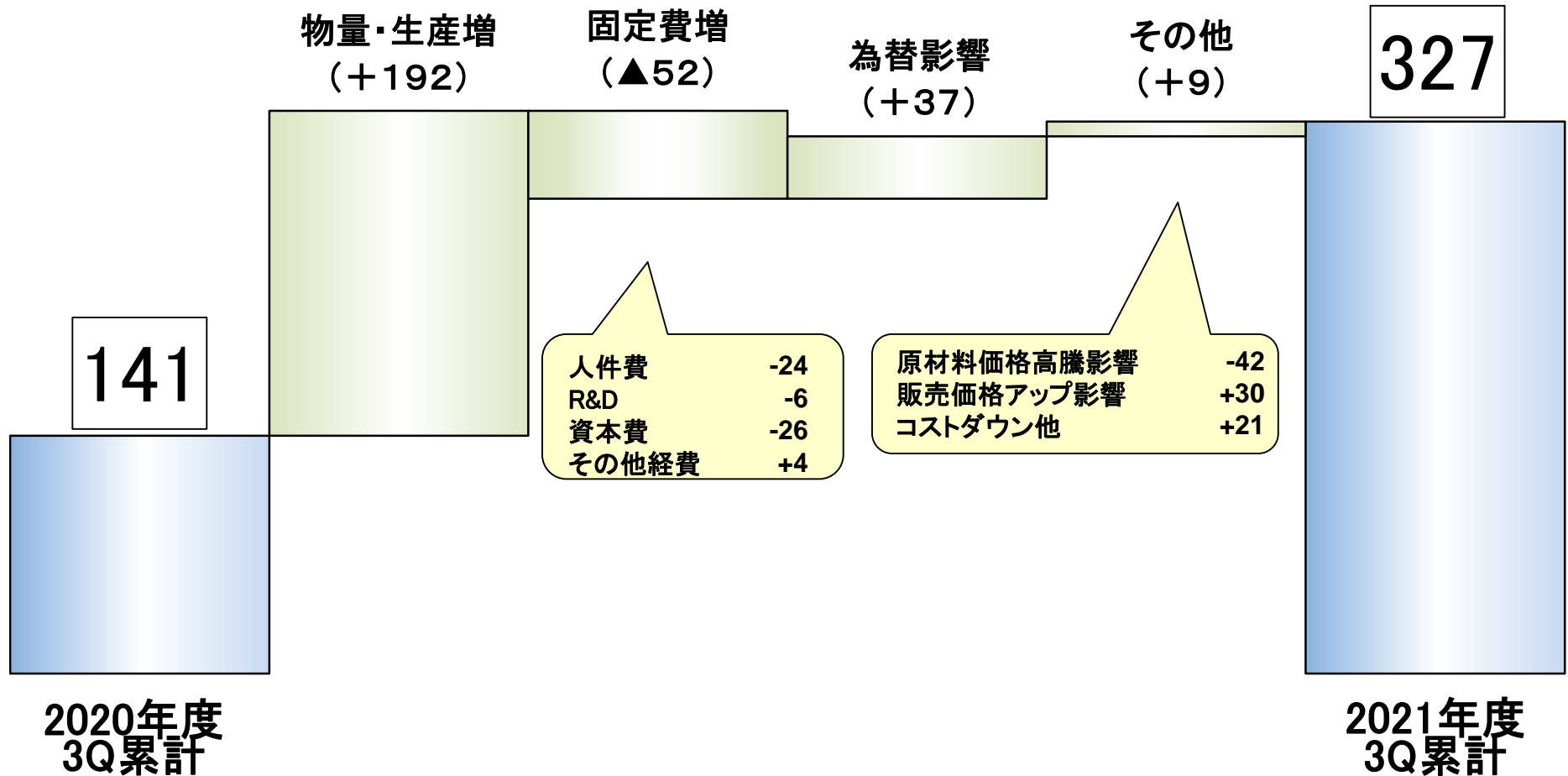
金融収支	-4	( 16 → 12 )
為替差損益	+15	( -12 → 4 )
その他	+5	( -6 → -1 )
	+16	( -1 → 15 )

### 特別損益増減

製品不具合対策費	+167	( -167 → 0 )
投資有価証券売却益	+82	( 2 → 85 )
事業撤退損(ディスク媒体)	-4	( 0 → -4 )
その他	-7	( -1 → -8 )
	+238	( -165 → 72 )

物量増・生産増を主因に増益

(単位:億円)



## 発電プラントを除く全セグメントで増収増益

(単位:億円)

	2020年度 3Q累計		2021年度 3Q累計		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワエレ エネルギー	1,363	50	1,621	92	257	42
パワエレ インダストリー	2,016	23	2,137	66	121	43
半導体	1,123	114	1,294	192	171	77
発電プラント	508	18	443	-11	-65	-29
食品流通	541	-44	653	16	112	60
その他	384	12	394	17	10	5
消去または全社	-323	-31	-344	-43	-20	-12
合計	5,613	141	6,200	327	587	186

※ 当第1四半期連結会計期間より、従来「電子デバイス」としていたセグメント名称を「半導体」に変更しております。

※ 当第2四半期連結会計期間より、従来「パワエレシステム エネルギー」及び「パワエレシステム インダストリー」としていたセグメント名称を「パワエレ エネルギー」及び「パワエレ インダストリー」に変更しております。

# 2021年度第3四半期累計 セグメント別業績概況(対前年) ①

(単位:億円)

			2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	増減	概況
パワーエレクトロニクス	エネルギー	売上高	1,363	1,621	257 +31*	<b>エネルギーマネジメント 3%増収</b> 電力流通及び産業向け電源機器の大口案件等により、売上高は前年同期を上回りましたが、案件差等により、営業損益は前年同期を下回りました。 <b>施設・電源システム 18%増収</b> データセンター及び半導体メーカー向け案件の需要が拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。 <b>器具 35%増収</b> 工作機械をはじめとする国内外の機械セットメーカーの需要が大幅に拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
		営業損益	50	92	42 +6*	
	インダストリー	売上高	2,016	2,137	121 +40*	
		営業損益	23	66	43 +7*	

※2020年度実績は、2021年度の事業組替を反映し、表示しています。

\*為替影響

# 2021年度第3四半期累計 セグメント別業績概況(対前年) ②

(単位:億円)

		2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	増減	概況													
半 導 体	売上高	1,123	1,294	171 +63*	ディスク媒体事業からの撤退影響があったものの、電気自動車(xEV)向け及び産業分野向けのパワー半導体の需要拡大により、売上高は前年同期を上回りました。また、パワー半導体の生産能力増強及び研究開発に係る費用が増加したものの、売上高の大幅な増加により、営業損益も前年同期を上回りました。													
	営業損益	114	192	77 +24*														
		売上高内訳 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業</td> <td>565</td> <td>675</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>電装</td> <td>379</td> <td>519</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>				2020年度	2021年度	増減	産業	565	675	109	電装	379	519	140		
	2020年度	2021年度	増減															
産業	565	675	109															
電装	379	519	140															
発 電 プ ラ ン ト	売上高	508	443	-65	前年同期の再生可能エネルギーの大口案件影響により、売上高は前年同期を下回りました。また、売上高の減少及び案件差等により、営業損益も前年同期を下回りました。													
	営業損益	18	-11	-29														
食 品 流 通	売上高	541	653	112	<b>自販機 12%増収</b> 国内外の需要が拡大し、売上高は前年同期を上回りました。また、売上高の増加及び固定費削減等の推進により、営業損益も前年同期を上回りました。  <b>店舗流通 29%増収</b> コンビニエンスストア向け店舗設備機器等の需要拡大により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。													
	営業損益	-44	16	60														

※2020年度実績は、2021年度の事業組替を反映し、表示しています。

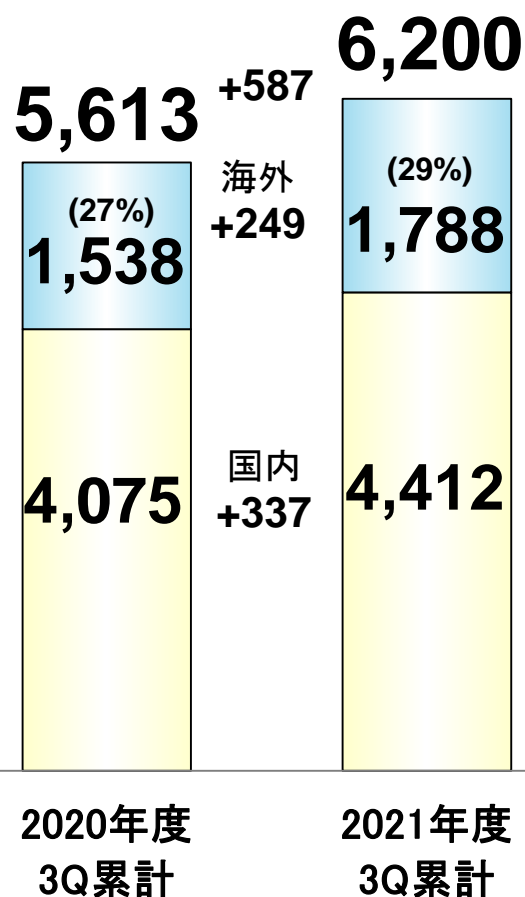
\*為替影響

# 2021年度第3四半期累計 売上高〔国内/海外・地域別〕(対前年)

## 海外売上高は中国・アジア向けが増収

(単位:億円)

( )内は海外売上高比率



(単位:億円)

	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	増減
海外	1,538	1,788	249 +140*
アジア他	726	809	83 +44*
中国	600	725	125 +82*
欧州	115	137	22
米州	97	116	20

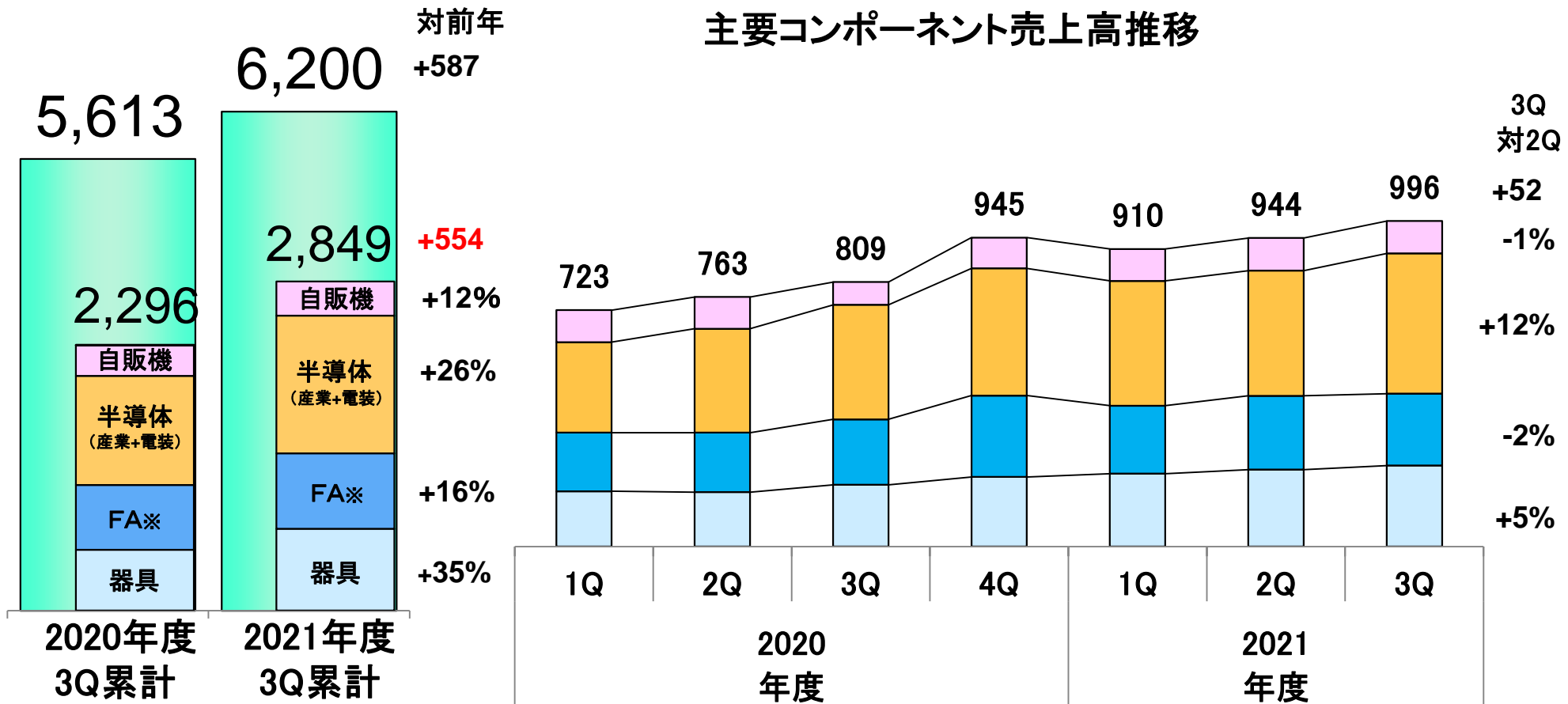
施設・電源システム +41  
器具 +29  
オートメーション +43  
半導体 -56  
(内、ディスク媒体 -83)  
発電プラント +21

器具 +33  
オートメーション +42  
半導体 +55

\*為替影響

## 主要コンポーネントの需要が大幅に増加

(単位: 億円)

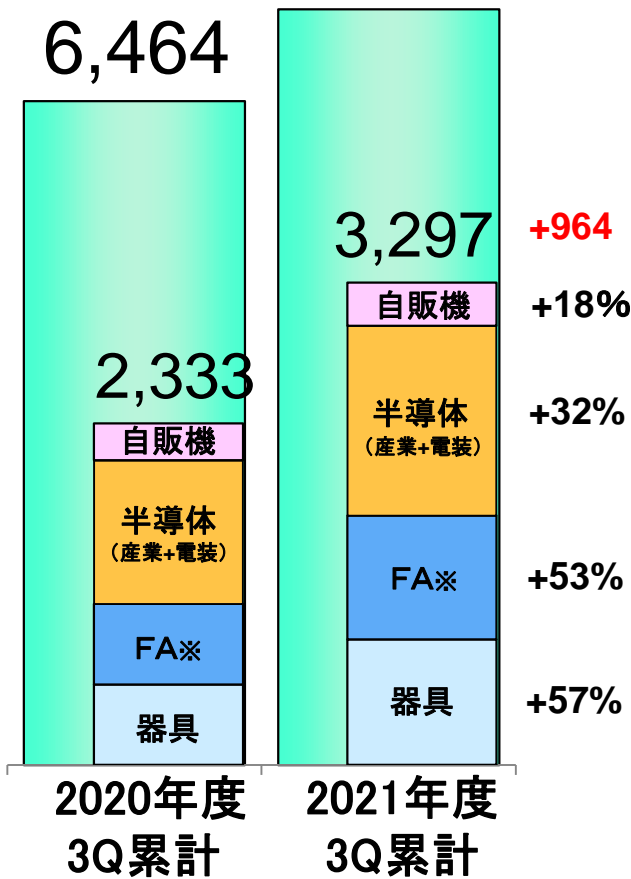


※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器  
 ※2020年度実績は、2021年度の事業組替を反映し、表示しています。

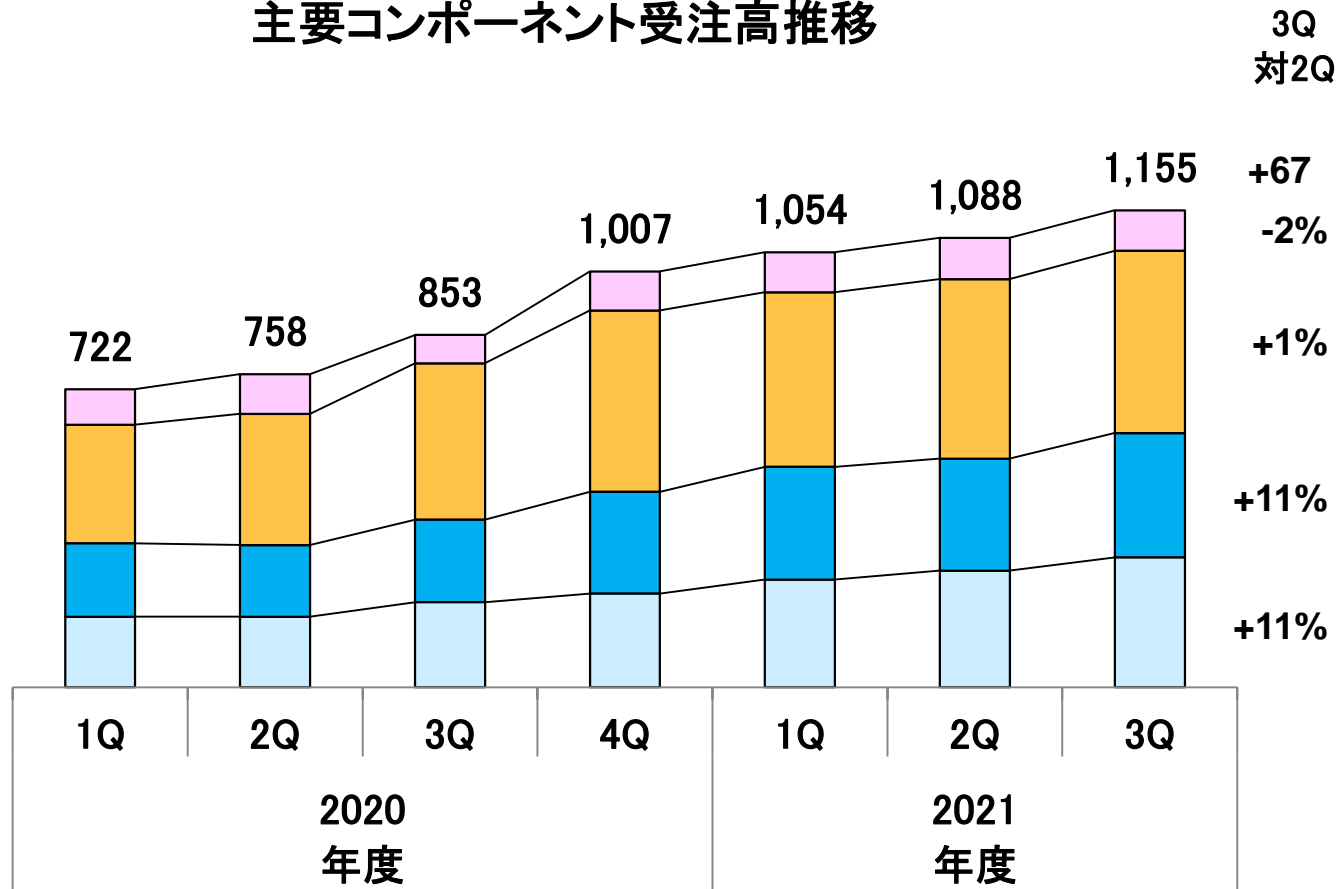


## 主要コンポーネントを中心に受注が拡大

(単位:億円) 対前年  
+895



## 主要コンポーネント受注高推移



※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器  
 ※2020年度実績は、2021年度の事業組替を反映し、表示しています。

# 2021年度第3四半期 連結貸借対照表

(単位: 億円)

資産の部	21/3/31※1	21/12/31	増減
現金及び預金	765	756	-9
売上債権	3,505	3,145	-360
棚卸資産	1,597	1,706	109
その他	498	642	144
流動資産 計	6,365	6,250	-115
有形固定資産	2,098	2,194	96
無形固定資産	234	218	-17
投資その他の資産	1,888	1,844	-43
固定資産 計	4,220	4,256	36
繰延資産	1	1	-0
資産 合計	10,586	10,506	-79
ネット有利子負債※2	1,409	1,341	-67
ネットD/Eレシオ※3	0.3倍	0.3倍	-0.0倍
自己資本比率	39.6%	41.6%	1.9%

負債、純資産の部	21/3/31※1	21/12/31	増減
買入債務	1,720	1,541	-180
有利子負債	2,162	2,080	-82
その他負債	2,072	2,047	-25
負債 合計	5,954	5,668	-287
資本金	476	476	-
資本剰余金	460	460	-0
利益剰余金	2,735	2,860	125
自己株式	-73	-74	-0
株主資本	3,597	3,722	125
その他の包括利益累計額	590	645	55
非支配株主持分	444	472	27
純資産 合計	4,631	4,839	207
負債・純資産 合計	10,586	10,506	-79

※1 収益認識に関する会計基準適用後の組替数値

※2 ネット有利子負債：有利子負債- 現金及び現金同等物

※3 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 ÷ 自己資本

# 2021年度通期 連結業績予想(対前回予想)

## 営業損益720億円、営業利益率8%を計画 パワエレ エネルギー(器具)および半導体の利益を上方修正

(単位:億円)	10/28予想	1/27予想	増減
売上高	9,000	9,000	+0
営業損益 (営業利益率)	670 (7.4%)	<b>720</b> <b>(8.0%)</b>	+50 (+0.6%)
経常損益	680	730	+50
親会社株主に帰属する 当期純損益	500	525	+25

4Qの前提為替レート

	US\$	EURO	RMB
為替レート (単位:円)	107.0	127.0	16.5
為替感応度 (単位:億円)	0.4	0.3	1.3

\*営業損益ベース  
 US\$, EUROは1円変動影響、RMBは1%変動影響

(単位:億円)	10/28予想		1/27予想		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワエレ エネルギー	2,250	180	2,330	200	+80	+20
パワエレ インダストリー	3,330	250	3,250	250	-80	0
半導体	1,700	250	1,700	260	0	+10
発電プラント	840	33	840	33	0	0
食品流通	875	27	875	27	0	0
その他	500	18	500	18	0	0
消去または全社	-495	-88	-495	-68	0	+20
合計	9,000	670	9,000	720	+0	+50

## ■器具受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)	3Q累計(対前年)
全体	+11%	+53%	+57%
国内	+12%	+58%	+56%
海外	+9%	+39%	+58%

## ■低圧インバータ受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)	3Q累計(対前年)
全体	+20%	+73%	+74%
国内	+2%	+55%	+62%
海外	+34%	+86%	+84%

## ■半導体受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)	3Q累計(対前年)
産業+電装	+1%	+17%	+32%
産業	-4%	+16%	+28%
電装	+9%	+18%	+38%

## ■自販機受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)	3Q累計(対前年)
全体	-2%	+43%	+18%
国内	+3%	+44%	+16%
海外	-33%	+30%	+33%

# 補足資料 2021年度通期連結業績予想(対前年)

(単位:億円)	2020年度 実績	2021年度 1/27予想	増減
売上高	8,759	9,000	-31* +241
営業損益	486	720	+20* +234
経常損益	504	730	+226
親会社株主に帰属する 当期純損益	419	525	+106

(単位:億円)	2020年度 実績		2021年度 1/27予想		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワーエ ネルギー	2,092	140	2,330	200	+7* +238	+4* +60
パワーエ ンダストリー	3,459	218	3,250	250	-16* -209	+2* +32
半導体	1,575	177	1,700	260	-20* +125	+14* +83
発電プラント	804	25	840	33	+36	+8
食品流通	766	-53	875	27	+109	+80
その他	527	22	500	18	-27	-4
消去または全社	-463	-43	-495	-68	-32	-25
合計	8,759	486	9,000	720	-31* +241	+20* +234

※2020年度実績は、2021年度の事業組替を反映し、表示しています。

\*為替影響

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。